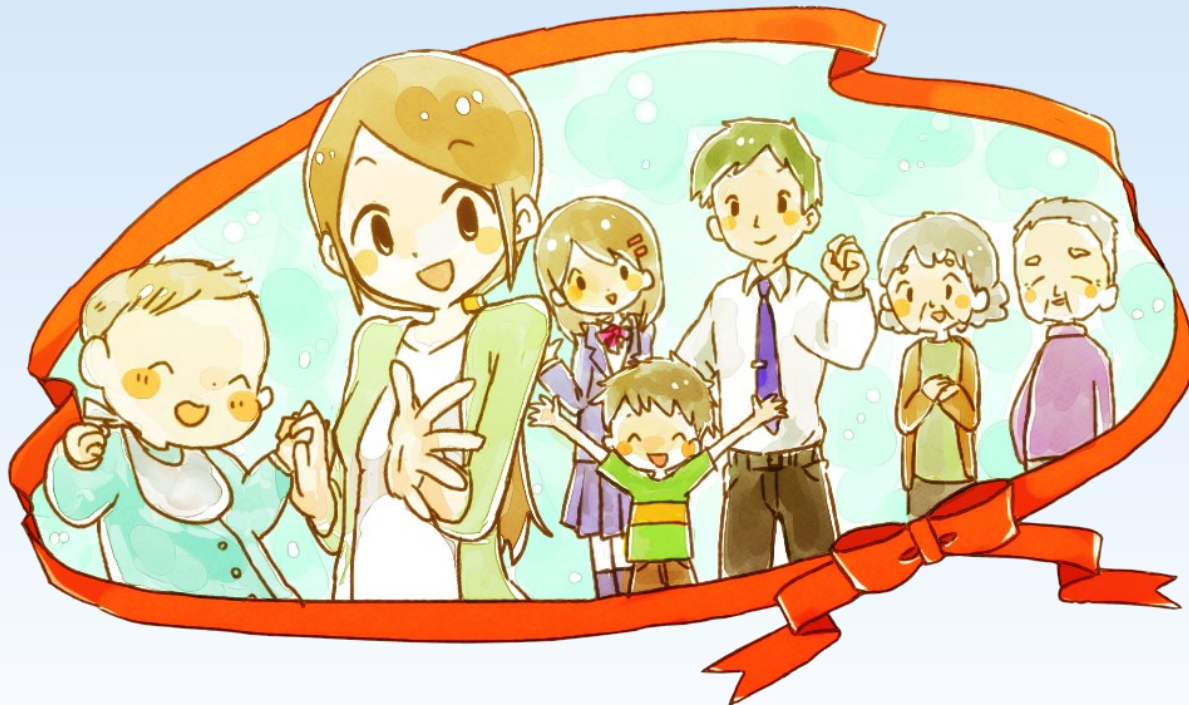


柏市母子保健計画の 推進について



1 柏市母子保健計画の計画期間とこれまでの取り組み

○計画の位置づけ

柏市母子保健計画は本市のまちづくりの基本的な方向性を示す「柏市第五次総合計画（平成28年度から令和7年度）」における分野別計画とし、本市の母子保健に関する「基本計画」の役割を有しております。

○計画の期間

計画の期間は、平成28年度から令和7年度までの10か年です。令和2年度3年度の2か年をかけて中間評価及び計画の見直しを実施しました。令和6年度は、最終評価を行う予定です。

H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
計画 開始			柏市母子保健計画					最終 評価	次期 計画 の検 討
				中間評価 計画修正					

2 令和5年度柏市保健衛生審議会 母子保健部会の振り返り

- 1 日時 令和5年10月27日（金）午後3時から午後4時30分
- 2 場所 ウェルネス柏4階 研修室
- 3 出席者
 - （1）委員 11人（3人欠席）
 - （2）柏市 健康医療部：2人，保健所1名，こども部：4人，福祉部：1人，教育委員会学校教育部：1人，事務局
- 4 内容
 - （1）開会
 - （2）挨拶
 - （3）委員の変更及び事務局紹介
 - （4）議事
 - 1）令和5年度柏市保健衛生審議会について
 - 2）柏市母子保健計画の推進について
 - 3）柏市母子保健事業の取り組みについて
 - （5）その他
 - （6）閉会

令和5年度は、母子保健部会を年1回開催し、
以下のとおり、ご意見をいただきました。

5 議事内容における主な意見

母子保健事業の取り組みについて

検討・課題	主な意見
積極的に育児をしている父親の割合について	・3～4か月時だけでなくほかの時期のデータも必要なのではないか ・1歳6カ月児健診、3歳児健診の父親の育児参加状況のデータを示してほしい。 ⇒指標欄に、1歳6カ月児健診、3歳児健診で得たデータを参考値として追加しました。
産後ケアの周知や内容について	・本当に必要な方に情報が届いていないのではないか ・施設をもう少し増やしたり、気軽に申し込めるような事業展開を検討してほしい。 ⇒令和6年度から施設や利用方法を拡充し、Webでの問い合わせも可能になりました。
乳児全戸訪問について	・訪問後のフォローアップが重要 ・希望するサービスに簡単に繋がる方法はないか ⇒訪問後に継続支援が必要な場合は、地域担当が必要なサービスにつなげるように支援しています。 ・幼稚園、保育園、こども園、小学校、つどい等の地域の横の繋がりが大切。 ⇒柏市民健康づくり推進員と共に、各地域ごとに母と子のつどいや健康講座、小中学校等に出向き行う健康教育など、地域とつながる活動を行っています。
こころ等についての増加の理由	・妊娠届出時の専門職による面談で把握したもの。 ・精神疾患だけでなく知的障害があると思われる方、理解力がゆっくりの方でも要支援者に含まれている。 ・面談者の聞き取りスキルの向上が必要。 ⇒面接スキル向上に向けて窓口従事者研修やケース検討会を実施しています。 ・関係医療機関との連携（情報提供の増加） ⇒周産期メンタルヘルスカンファレンス等を通した関係機関との連携体制の構築を進めています。

3 柏市母子保健計画の進捗状況について

○令和4年度柏市保健衛生審議会母子保健部会にて、
資料6「柏市母子保健計画**指標推移**」に
資料7「柏市母子保健計画**進捗状況**」を加えて、
柏市母子保健計画の進捗状況を把握することを承認いただき、
令和5年度から実施しています。

柏市母子保健計画の 進捗状況の把握

母子保健計画指標推移（資料6）

アウトカム（結果）指標の推移を確認していくもの。

柏市母子保健計画策定時に、数値による目標値を明示し、施策の効果を測定する指標として設定したもの。

母子保健計画の進捗状況（資料7） *R5～

プロセス（過程）指標やアウトプット（事業実施量）指標、ストラクチャー（構造）指標の推移を確認していくもの。

アウトカム（結果）指標の変化に向け、現在実施している事業の実施経過を把握していく。

令和5年度実績より 柏市母子保健計画の主な進捗状況について

中間評価時に、指標が悪化しており、課題としてあげられたものから下記の3つにポイントを絞り、資料6「柏市母子保健計画指標推移」、資料7「柏市母子保健計画進捗状況」の結果を含め、説明します。

1 増加する特定妊婦・ハイリスク妊婦への切れ目ない支援

2 乳幼児健診未受診者への対応

3 地域課題の視点・地域ぐるみの子育て支援の強化

1 増加する特定妊婦・ハイリスク妊婦への切れ目ない支援

■指標推移（資料6）より

- ・ [指標14]ハイリスク妊婦の割合は、**横ばい**（R4 24.0%→R5 23.3%）
[指標15]特定妊婦の割合は、**やや増加傾向**（R4 11.0%→R5 12.4%）
- ・ [補足データ]要支援ケースフォロワーの割合では**目標達成**（R4 95.8%→R5 94.7%）

■進捗状況（資料7）より

- ・ 妊娠届出時面接におけるスキル向上により、要支援者を早期から把握し、必要なサービスの提供や地域担当保健師への速やかな引継ぎなど、タイムリーで切れ目ない支援を行っている（No.1）
- ・ 配慮を要する家庭の増加に伴い、効果的なケース支援体制強化のため、母子保健と児童福祉との一体的支援体制を検討（No.33）

2 乳幼児健診未受診者への対応

■指標推移（資料6）より

- ・[指標7]乳幼児健康診査の未受診率は、**減少傾向**

（3～6か月児：R3 6.5%→R4 5.6%，1歳6か月児：R4 5.3%→ R5 2.4%，
3歳児：R4 6.8%→R5 4.7%）

■進捗状況（資料7）より

- ・乳児一般健康診査では，新生児訪問時の声かけや電子親子手帳を活用した受診勧奨を実施（No.12）
- ・幼児健康診査では，はがきでの受診勧奨時期を早め予約可能期間を拡大。
また，2歳又は4歳に達し対象外となった児については，電話・訪問による未受診の理由，児及び保護者の健康状態，児の発達等の確認や関係機関と連携して所属の確認等を行っている（No.15）

3 地域課題の視点・地域ぐるみの子育て支援の強化

■指標推移（資料6）より

- ・[指標10]今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合（参考値）は、**横ばい**
（3・4か月児：R4 92.6%→R5 94.3%,
1歳6か月児：R4 93.4%→R5 92.9%, 3歳児：R4 95.2%→R5 95.1%）

■進捗状況（資料7）より

- ・柏市民健康づくり推進員が行う母と子のつどいでは、地域の実情に合わせて日数や内容を工夫して実施し、参加者が増加（No.7）
（実施回数・参加者数：R4 121回・1,865人→R5 204回・4,059人）
- ・地域子育て支援拠点事業では、1施設が柏たなか駅前に移転。現在、予約制から自由来館制とし、子育て中の親子の交流の場として機能しており、利用者も増加（No.49・50）
（はぐはぐひろば：R4 31,246人→R5 38,312人、地域子育て支援センター：R4 23,980人→R5 31,920人）
- ・一時保育事業の利用者が増加（No.25・26）
（はぐはぐぽけっと中央利用者数：R4 1,343人→R5 1,749人、公立保育園一時保育利用者数：R4 1,646人→R5 1,880人）
- ・ファミリー・サポート・センター事業の一時預かりの実施日追加などにより、利用者が増加（No.21）（R4 7,154件→R5 9,146件）